

## 文部省主催幼稚園に關する講習所感

醫 峰 生

昭和三年に於ける文部省主催の夏季講習會中幼稚園事項に關するものは東京奈良兩女高師に於て開催せられました。奈良の模様は視ませんから分りませんが東京の方については御注意までに申し上げます。ということがあります。

文部省が例年中等教育の夏季講習を開催し、併せて幼稚園保育の講習をなしてゐることはよく御承知の筈であります。所が實際に於て七月中旬になつて、東京に講習があるだらう、出かけて見るといふ人が少くないやうで相當の手續がなくて東京に出て來たといふ方が多いやうに思はれます。

主催が文部省で東京女子高等師範學校でも奈良女子高等師範學校でもそれを委託せられてゐるこ

とを第一に知つて居らねばなりません。東京女子高等師範學校附屬幼稚園で講習がありましたも、東京女子高等師範學校附屬幼稚園で主催してゐるのではありません。講師や會場が東京女子高等師範學校の教師であり、校舎であるといふに止まります。従つて文部省は中等學校教員の講習と共に七月上旬が、六月下旬に官報を以て講習題目要項時數、講師、注意等を發表し併せて講習申込手續を告示するのであります。それで文部省の講習を受けんと思はれる方はよく官報の講習告示を讀んで所定の手續をなさることが肝要であります。本年東京女子高等師範學校で開催せられた講習は遊戯が十二時間もありませんから定員が百名でありました。所が地方應より東京女子高等師範

學校へ公式の手續になつたものだけでも二百五十に達してゐました。それも指定の期限内の申請でなく、講習開催間際になつての電報さへありましたから係の方でも大變に困つたのであります。二百五十に近い數を整理して百六十名許可せられたのでありますから相當手續のものでも多數斷つてあります。それを初日の廿六日朝になつて「私は何縣から參りました。折角來たものですから是非講習員に加へて呉れ」と嘆願せられる方が少くありませんでした。時には大聲上げて泣く方さへ往々にあります。誠に氣の毒ではありますが、それ位ならば「何故もつと早く手續なさいませんか」と申上げると「それは知りませんでした。」「行けば許して下さるでせうと思つてゐました。」「また「誰さんが行きさへすればどうにかありますと仰いましたから」といふやうな繰言が多いのであります。知らなかつた。といふことに對しては何と

も申様がありません。來年よりよく氣をつけて官報を御覽なさいませと申上げるより外ない。「來年は氣をつけますから今年は是非入れて下さい」と泣かれますがこれも誠に困つたことであります。「聴講だけでも」次には「修了証書」といふ／＼面倒が起りましたがこれは今年に限つたことではありません。しかし今年は一層講習申込者が多くて某府縣の手續等から混雜いたしました。

講習會費をとる講習が多いからその場で申込めばよい位に考へられるも無理もありませんが、どうか文部省主催の講習は聴講料はとらぬこと。所定の期間内に所定の手續をなすべきこと。官報で告示せられること等を十分御承知ありたいと思ひます。實は今年の模様を見て後學のため申上げることで今年の講習員の方に兎や角小言を申す意味では毛頭ありません。